

2020 年 12 月 21 日
在グアテマラ日本国大使館

公開情報のとりまとめは以下の通り。

1 内政（新型コロナウイルス関連）

（１）９月３０日付けで災害事態宣言が終了した。これに伴い、１０月１日以降、夜間外出規制が解除となった。また、３月５日から９月３０日まで発出された災害事態宣言に代わり、政令による新たな措置が発表された。加えて、規制内容が一部緩和された。

○保健大臣主管による政令の概要は以下のとおり。

・コロナ禍の衛生措置と経済再興を進めるため、保健大臣主管の政令に基づき、１０月１日以降は「アラート信号」システムと同様の規制措置を行う。（７月２７日から開始された「アラート信号」システムは、新型コロナウイルス感染症感染拡大の監視及び抑制を行うため、警戒レベルを設けて経済活動を規制するためのシステムであり、感染状況に基づき各市が「赤・橙・黄・緑」に分けられ、規制は警戒レベル最高の赤から、橙、黄と緩和され、緑は最低限の規制がかかる。保健省が２週間ごとに感染状況を基に各市の警戒レベルを発表し、それに準じて規制を行う。）

期間	赤	橙	黄	緑
9 月 21 日～10 月 4 日	165 市	109 市	68 市	0 市
10 月 5 日～18 日	122 市	121 市	97 市	0 市
10 月 19 日～31 日	107 市	99 市	134 市	0 市

- ・国民は、保健・衛生規制のためのマスク着用、ソーシャル・ディスタンス確保の遵守、手の衛生（手洗い、消毒）を実施しなければならない。
- ・（１０月１日から）３ヶ月間、行政機関のサービス時間は朝７時から午後３時までとする。
- ・官民の全セクターにおいて、リモート・ワーク及びリモート会議を推奨する。

○内務大臣主管の政令概要は以下のとおり。

- ・アルコール・類似飲料の販売は午後９時から翌朝６時まで禁止とする（９月３０日までには午後７時から翌朝５時まで禁止であった）。違反した場合は罰金が科される。
- ・公共の場でのアルコール・類似飲料は引き続き禁止。

（２）グアテマラの感染状況

９月に比べ減少傾向にあり、新規感染者数は 500～800 件／日で推移。平日の検査数は

4,000～5,000 件／日で推移。10 月末日の推計症例数は 107,916 人であった。

（3）ジャマティ大統領の新型コロナウイルス感染

9 月 18 日、ジャマティ大統領の感染が発表され、ジャマティ大統領は、回復するまで自宅で執務を行いながら療養を続け、自己の症状を定期的にビデオメッセージで発信した。10 月 4 日夜、国民向けメッセージで、新型コロナウイルス感染症から回復したと発表し、5 日、抗原検査の陰性結果を公表した。

2 内政

（1）2021-2022 年を任期とした新たな国会議長団の選出

21 日、2021-2022 年国会議長団を構成する 9 名が選出された。2020-2021 年の構成員との主な変更点は、第一書記がフェリペ・アレホス議員（みんなの党（Todos））からカルロス・ロペス議員へ交代した点である。また、2021 年からアドルフォ・ガルシア議員が第五書記として構成員に新たに加わった。

議長：国会議長：アラン・ロドリゲス（バモス党（VAMOS）、与党）

第一副議長：ソフィア・エルナンデス（国民革新党（UCN））

第二副議長：ルイス・ロサレス（バロール党（VALOR））

第三副議長：アルマンド・カスティージョ（ビジョンと原則党（VIVA））。

第一書記：カルロス・ロペス（国民希望党（UNE））

第二書記：ルディ・ペレイラ（国民集中戦線（FCN））

第三書記：ドゥグラス・リベラ（ウマニスタ党（HUMANISTA））

第四書記：サンティアゴ・ナヘラ（国民希望党（UNE））

第五書記：ホルヘ・アドルフォ・ガルシア（市民繁栄党（PC））

（2）憲法裁判所判事の解任

21 日、憲法裁判所判事は、今年 7 月 9 日から健康上の理由（脳卒中）によ、休職していた憲法裁判所ネフタリ・アルダナ判事の進退に関し、医師の診断書により判事として職務を続行する事が不可能であると判断し、アルダナ憲法裁判所判事の解任を決定した。

憲法裁判所の判事・補欠判事（計 10 名）は、大統領（閣議）、国会、最高裁、国立サン・カルロス大学、弁護士・公証人組合の 5 機関によりそれぞれ 1 名の判事と 1 名の補欠判事が選ばれるが、アルダナ判事解任後、憲法裁判所は判事 2 名と補欠判事 1 名が空席となった（10 月時点での空席は、最高裁から選出されたアルダナ判事、9 月にコロナウイルス感染症によって亡くなったボネル・メヒア判事（弁護士・公証人組合より選出）、最高裁から選出された補欠判事であったコンスエロ・ポラス現検事総長（2018 年に検事総長に任命されたため空席）の計 3 席）。11 月に最高裁により判事及び補欠判事の選出が行われたため、12 月時点での空席は判事 1 席（弁護士・公証人組合による選出枠）。

（3）ホセ・ベニート前通信インフラ大臣による汚職疑惑

検察庁無処罰問題対策専門局（FECI）はアンティグア市での家宅捜査で現金 1.22 億ケツアルを押収した（過去 12 年間で現金押収最高額）。ホセ・ベニート前通信インフラ大臣（2018 年 4 月～2020 年 1 月）に対し、マネーロンダリングの疑いで逮捕状が発出された。

3 外交

（１）駐グアテマラ米大使の交代

10 月 2 日、ルイス・アレアガ当地米大使が離任し、4 日、後任のウィリアム・ポップ新米大使が当地へ到着した。コロナウイルスの影響により遅滞したが、19 日、ジャマティ大統領へ信任状捧呈を行った。

（２）当国国会議員及び元国会議員の米国ブラックリストへの追加

10 月 28 日、米国政府は、フェリペ・アレホス国会議員（現国会議長団第一書記・みんなの党（Todos））及びデリア・バク元国会議員を同国のブラックリストに追加した旨発表した。同日、ポンペオ米國務長官はツイッターで「デリア・バクとフェリペ・アレホスの汚職行為は、グアテマラの法の支配を弱体化させた。私は、彼らとアレホスの家族に対して米国への入国資格がないことを公表する。」と発表した。

他方、フェリペ・アレホス議員に対して、汚職事件への関与により検察庁から 2018 年以降 4 回に渡り不逮捕特権剥奪請求が行われたが、最高裁によって同要求が全て棄却されている。デリア・バク元議員に対しても、2019 年、検察庁無処罰問題対策専門局（FECI）が横領の罪で不逮捕特権剥奪請求を行ったが、最高裁によって棄却されている。

4 経済

（１）今年第二四半期に関するグアテマラ中央銀行の発表

・ GDP 経済成長率が過去 5 年間で最低の $\Delta 9.6\%$ を記録した。

2019 年 第一期： 3.6% 、第二期： 3.8% 、第三期： 4.0% 、第四期： 3.9%

2020 年 第一期： 0.9% 、第二期： $\Delta 9.6\%$

・ 第二四半期の 17 セクター別成長率

マイナス成長セクター： 13 セクター（第一四半期より 6 セクター増加）

宿泊・飲食業（ $\Delta 44.9\%$ ）、運輸・流通業（ $\Delta 30\%$ ）、その他のサービス業（ $\Delta 21.9\%$ ）、鉱山・採掘業（ $\Delta 14.7\%$ ）、建設業（ $\Delta 14.5\%$ ）、教育（ $\Delta 14.3\%$ ）、健康・ヘルスケア（ $\Delta 13.8\%$ ）、小売業（ $\Delta 10.7\%$ ）、製造業（ $\Delta 8.9\%$ ）、電気・水・衛生設備供給（ $\Delta 8.9\%$ ）

プラス成長セクター： 4 セクター（第一四半期より 6 セクター減少）

不動産業（ 2.6% ）、農水産業（ 2.0% ）、ファイナンス・保険業（ 0.7% ）、行政・防衛（ 0.2% ）

（２）10 月までの各月経済活動指標（前年同月比）

中銀は、10 月の経済活動指標を 1.3% と発表。新型コロナウイルス感染症対策の制限措置の影響を受け、4・5 月は $\Delta 10\%$ を記録したが、その後、急速な V 字回復が観察さ

れた。

1月 4.7%、2月 2.9%、3月△4.7%、4月△10%、5月△10.9%
6月△7.9%、8月△1.8%、9月 0.1%、10月1.3%

(3) 輸出の傾向

・米州開発銀行は、「新型コロナウイルスの影響でラテンアメリカ全体の輸出量は下降したものの、見通しよりも小さな下降で、輸出量回復の兆しも見られる。」と報告した。中米全体の輸出額は平均で△6.6%縮小したが、グアテマラは△1.4%の減少と中米内で最も輸出額への影響が少なかった。

・グアテマラ中銀のデータをもとにしたグアテマラ非伝統産品輸出業協会（AGEXPORT）の報告によると、9月には良い兆候がみられ、輸出額は昨年比△0.2%（83.2億米ドル）であった。アマドル・カルバジド AGEXPORT 理事はクリスマスシーズンの農作物や繊維産業の高い需要を考慮すると、年末には輸出がプラスに転じる可能性が高いと指摘した。他方、今年9月までの伝統産品の輸出額は6.6%増加したが、非伝統産品は△2.7%であった。その中でも、カルダモン、手工業品、穀物の加工品、衣料品は昨年と比べ輸出額が増加した。

(4) 海外送金の動向

10月までの海外送金額は昨年比で6.4%伸び、101.7億米ドルを記録し、2018年の総海外送金額92.8億米ドルを突破した（2019年総額は105億米ドル）。12月末までに110億米ドルに達することが期待される。

(5) 日本企業（株）ショーワグローブの新規投資による工場拡張起工式

10月26日、ジャマティ大統領の他、マルーフ経済大臣を始めとする多数の閣僚やプエルト・バリオス市長及び本使が参加の下、イサバル県プエルト・バリオス市で日本企業（株）ショーワグローブが出資する手袋製造工場の拡大建設工事起工式展が開催された。コロナ禍での手袋需要の高まりにより輸出量が拡大し、今回8,000㎡の新たな工場建設が決定された。投資額約1,200万米ドル、2021年末完成予定。約500件の新規正規雇用創出に資する見込み。

5 治安

(1) ホンジュラスからの移民キャラバン

・10月1日、ホンジュラス北部から米国等を目指す移民キャラバンがグアテマラ・ホンジュラス国境に到達し、多数の移民が不法にグアテマラ内に流入した。これを受け、同日夕刻、政府は、国民の安全と健康を守るためホンジュラス国境付近の6県（イサバル県、ペテン県、サカパ県、エル・プロGRESO県、フティアパ県、チキムラ県）に予防措置態勢（15日間）を発令した。

・4日、政府はホンジュラスから不法にグアテマラ国内に流入したキャラバンの移民3,384人が既にホンジュラスへ帰還したと発表した。

◇主要経済指標◇	2020 年			2019 年	2018 年
	10 月	9 月	8 月		
インフレ率（前年同月比）	1.06%	0.16%	0.4%	3.70%	2.31%
貿易収支（百万ドル）	△736.7	△597.5	△510.7	△8,710.9	△8,743.8
輸出（百万ドル）	933.6	896.9	932.9	11,170.5	10,990.2
輸入（百万ドル）	1,670.3	1,494.4	1,443.6	19,881.4	19,734.0
外貨準備高（百万ドル）	18,314.8	17,611.2	17,623	14,789	12,755.6
外国からの送金（百万ドル）	1,132.9	1,051.2	1,050.1	10,508.3	9,287.7
為替レート（対ドル月平均）	7.78	7.76	7.70	7.69	7.52

（出典：中銀、国立統計院）